

2026 年 9 月 18 日

高校生向け SDGs アクションアイデアコンテスト 『SDGs QUEST みらい甲子園』新潟・北関東エリア大会』の開催について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、地域の未来を担う若者たちの育成・支援の一環として、高校生向けSDGsアクションアイデアコンテスト『SDGs QUEST みらい甲子園』新潟・北関東エリア大会』（以下、本大会）に特別協賛しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開催趣旨

「SDGs QUEST みらい甲子園」は、高校生が SDGs の視点から社会課題の解決策となる「SDGs アクション」のアイデアを考え、発表するコンテストです。全国各地で開催されており、今年度で第 8 回目を迎えます。

本大会は「新潟・北関東エリア」として、栃木県・群馬県・新潟県の高校に通う高校生を対象に開催します。当行は、「りょうもう地域活性化パートナーシップ」として連携する群馬銀行とともに本大会に特別協賛し、共催行の第四北越銀行と 3 行で高校生のサステナビリティへの意識醸成を図り、将来の地域社会の発展を担う人材の育成・支援に貢献してまいります。

2. 開催概要

名 称	高校生向け SDGs アクションアイデアコンテスト 『SDGs QUEST みらい甲子園』新潟・北関東エリア大会』
エントリー期間	2026 年 9 月 24 日（木）～2026 年 12 月 10 日（木）13:00 まで
内 容	・持続可能な社会を実現するために解決したい、変えたいと考える「探究テーマ（課題）」を選び、その解決策となる「SDGs アクション」のアイデアを提案・発表するコンテストです。 【参加条件】栃木県・群馬県・新潟県の高校に通う 1 年生・2 年生、2～6 名で構成するチーム（チームの中に高校 3 年生も参加可）
参 加 費	無料
ファイナルセレモニー 開催日・会場	2027 年 3 月 26 日（金）／第四北越銀行 長岡本店営業部 （長岡市大手通2-3-10、米百俵プレイス ミライエ長岡 西館）
主 催	SDGs QUEST みらい甲子園新潟・北関東エリア大会実行委員会
共 催	株式会社 第四北越銀行
特別協賛	株式会社 足利銀行、株式会社 群馬銀行
協 賛	下野新聞社、上毛新聞社、新潟日報社
後 援	国連広報センター、文部科学省、栃木県、栃木県教育委員会、群馬県、群馬県教育委員会、新潟県、新潟県教育委員会

※募集内容や応募方法等の詳細については、別添のチラシまたは[「SDGs QUEST みらい甲子園」公式ホームページ](#)にてご確認ください。

以 上

高校生が考える社会課題解決のためのSDGsアクションアイデアコンテスト

SDGs QUEST みらい甲子園



君たちの
「探究」が
未来を変える



最優秀賞チームは、全国大会 FutureSession 2027へ

新潟・北関東エリア
代表チームを
目指そう!



新潟・北関東エリア大会

(新潟県・群馬県・栃木県)

大会概要は
こちらから



エントリー
開始

2026年

9月24日(木)

エントリー
締切

2026年

12月10日(木)

13:00まで

👑ファイナルセレモニー

2027年3月26日(金)

会場：第四北越銀行
長岡本店営業部

君の挑戦を未来の証明に残そう!

本年度からファイナリスト全員に、探究活動で身につけた経験やスキルのデジタル証明として、**国際標準規格のオープンバッジ**を授与します。進学や就職、将来のキャリアにも活用できる生涯残る学びの証です。

●参加者全員には、これまで通り参加証明書を発行します。



[デジタルバッジイメージ図]

詳しくは
こちらから



【共催】

【特別協賛】



第四北越銀行



群馬銀行



足利銀行

【協賛】

新潟日報社



上毛新聞社



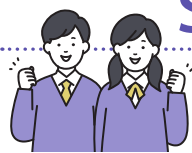
下野新聞社

主催：SDGs QUEST みらい甲子園新潟・北関東エリア大会実行委員会 協力：一般社団法人 地域創生プラットフォームSDGsにいがた

後援：国連広報センター、文部科学省、新潟県、新潟県教育委員会、群馬県、群馬県教育委員会、栃木県、栃木県教育委員会

企画・総合プロデュース：未来教育株式会社





SDGs QUEST みらい甲子園 エントリーガイド

**君たちの探究は、
ここから
社会につながる!**

高校生がSDGsの視点から社会課題を探究し、その学びをもとに、未来をより良くするアクションやアイデアを提案・発表するコンテストです。一人ひとりの探究から生まれる新しい発想を社会に広げ、多くの人の行動につながるきっかけを創出することを目指しています。

募集要項

参加条件

当該エリアの高校に通う1年生・2年生、2～6人で構成するチーム

※1名のみでの参加はできません。※チーム内の高校3年生も参加可

高校3年生のみのエントリーは不可

※中学生は同じ中高一貫校に所属する高校生と一緒に参加可 ※通信、高専等参加可

募集内容

**SDGsの目標達成に向けた
高校生によるアクションアイデアプラン**

※活動実績の有無は問いません。

プラン
記事
記載
事項

- プラン名・チーム名・探究テーマとその選定理由
- 社会課題を解決するアクションアイデアと貢献するSDGsゴール
- SDGsアクションを実現する方法

提出形式

公式サイトにてテンプレート(PowerPoint、Googleスライド、Canva、6ページ)をダウンロードし、それをひな形にして作成。

審査方法

- 1次審査:PDF審査
- 2次審査:5分以内のプレゼンテーション動画(後日提出)を加味した審査

※提出された動画は、後日公式サイト等で公開いたします。

応募方法

エントリーには、メールアドレスが必要です。
1つのメールアドレスで、複数のエントリーはできません。

エントリーは
こちらから



ファイナリスト特典

本年度から参加証明書以外にファイナリスト全員に探究活動で身につけた経験やスキルのデジタル証明として、オープンバッジを授与します。世界標準、生涯残る証を手に入れよう!

- 挑戦すると、社会とつながる。
- 挑戦すると、企業や大学と出会える。
- 挑戦すると、自分の学びが世界共通の証明(オープンバッジ)になる。
- 挑戦すると、新しいステージへ招待される。



[デジタルバッジイメージ図]

詳しくは
こちらから



全国大会だけじゃない。君たちの探究には、もう一つのステージがある。

エントリーした探究アイデアは、テーマに応じて特別コラボレーション企画への参加や選出につながる機会があります。

- JICA国際協力みらい賞発表会 ●全国森林づくりコンテスト
- AI Sustainability Camp ●企業・大学との共創プロジェクトなど

※2025年実績



2027年 SDGs QUEST みらい甲子園 JICA国際協力みらい賞発表会

世界の社会課題をテーマにした探究アイデアを表彰する特別プログラムです。国際協力や開発途上国支援など、世界をより良くするアイデアを対象に選考を実施。選ばれたチームは、JICAとの特別発表会へ招待されます。(2027年夏頃)

新潟・北関東エリア大会実行委員会 (実行委員長、実行委員 ※五十音順)

●実行委員長



村山 敏夫
新潟大学
人文社会科学部
准教授



板橋 英之
群馬大学 副学長
大学院食健康科学研究科
教授



上村 知世
株式会社エフエムラジオ新潟
放送本部 放送部長
プロデューサー・パーソナリティ



権田 恭子
新潟産業大学
経済学部
准教授



齊藤 由倫
高崎経済大学
准教授



萩原 なな
特定非営利活動法人
トチキ環境未来基地
事務局長